

# タヒチヌイトラベル発

TAHITI NUI TRAVEL  
タヒチプチ情報

2011年7月1日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。



みなさま、こんにちは！

今日から7月1日です。

日本もそろそろ夏ムードになって来た頃ではないでしょうか？

左の写真はおなじみタヒチの航空会社「エア－タヒチヌイ」。

今日から、このエア－タヒチヌイの荷物制限が変わります。

6月30日迄に発券されている航空券を持っている場合はファーストとビジネスクラスは個数に関係なく、40<sup>キ</sup>まで。

エコノミークラスでも、個数に関係なく30<sup>キ</sup>まで無料で預ける事が可能でした。

詳しくは、こちらをご覧ください。⇒ <http://www.airtahitiniui.co.jp/airport/baggage/>

7月1日以降に発券された航空券の場合、ファーストとビジネスクラスでは、1人2個まで、1個当たり32<sup>キ</sup>まで。

エコノミークラスでは、一人1個23<sup>キ</sup>まで、と規制が厳しくなっています。

詳しくは、こちらをご覧ください。⇒ [http://www.airtahitiniui.co.jp/airport/baggage/index\\_2.html](http://www.airtahitiniui.co.jp/airport/baggage/index_2.html)

いずれも、機内へ持ち込める手荷物の制限は10<sup>キ</sup>で変更は無いようです。

タヒチの空港では、この規制変更の際し、すでにチェックインカウンターでは、以前にもまして荷物超過などに厳しくなっており、チェックイン時に追加料金をお支払しているお客様をよく見かける様になりました。

日本からの旅行者はハードタイプのスーツケースを持っている方が多く、このタイプのスーツケースはメーカーと大きさによって異なりますが、丈夫な作りの為にケースの重さだけで、5<sup>キ</sup>～8<sup>キ</sup>もあるので注意が必要ですね。

スーツケースだけで8<sup>キ</sup>もあると、持って行ける荷物は15<sup>キ</sup>分となりますが、現地でのお土産購入を考えると、日本から持って行ける私物がいっそう限られてきます。

そこは樂園タヒチの航空会社、スポーツ用品には例外を認めている物があるようで、ダイビング機材・サーフボード・ゴルフバックは上記とは別に1人1個23<sup>キ</sup>までプラスα無料で預ける事が可能。(F/Cクラスは1つ32<sup>キ</sup>まで)

ダイビングはCカードと呼ばれるライセンスがあるので、提示を求められる事もありますが、ゴルフやサーフィンにはライセンスはありません、年明けには各社スーツケースメーカーより「荷物超過心配無用・サーフボードケース型スーツケースやゴルフバック型スーツケース」などの販売が期待される所ですね。←本当に販売されたら笑えます！それにチェックインの際にはゴルフバッグの中身は確認されるでしょうし・・・ね・・・

やはり、現地でのお土産購入を考えると、荷物の制限がどうしても気になる所です。

誰しも、楽しい旅行の最後に荷物超過の為に空港でゴタゴタしたくはないものです。

そんな時に便利なのが、現地到着時に各旅行会社などで配っている「お土産宅配サービス」などを利用する方法です。

申込用紙に記入後、現地ガイドさんに渡すだけで申し込みは終了、配達希望日に日本の所定住所にお土産が届き、中に入っている振込用紙を使って、後払い。

これであれば、帰りの飛行機の荷物制限を気にする事なく、旅行ができますね。

また、パペーテ市内ヴァイマショッピングセンター内・タヒチヌイトラベルの日本人スタッフが常駐しておりますタヒチヌイ@ラウンジでも、お客様のお土産やお買いものご相談などお受けいたします。

お気軽にお立ち寄りください。

今回、エアー・タヒチヌイの規定が変更になった事をお知らせいたしましたが、念のため国内線(エアー・タヒチ)の受託荷物無料許容量規定も合わせて明記いたしますので、お荷物のパッキングの際の参考にしてください。

エアー・タヒチ(国内線)の受託荷物許容量は1人3個の合計が20<sup>キ</sup>まで無料で預ける事が可能です。

また、ダイバーが機材を荷物に入れている場合はCカードをチェックイン時に提示していただければプラスα5<sup>キ</sup>を認めてもらえます。

さらに、国内線の機内へ持ち込める「手荷物の制限は3<sup>キ</sup>まで」と厳しくなります。

多少なりとも、国際線と国内線には受託荷物の規定の差があるので、タヒチ島到着後に離島へ乗り継ぐ予定のお客様は、前もって国内線の荷物規定に従ったパッキングをしておく必要があるかと思えます。

または、離島で必要ではない荷物は空港の荷物室にでも預けておく事もできます。

タヒチ島で宿泊をされてから、離島に移動する方に関しては、ほとんどのホテルで、荷物を預ける事が出来るので、離島に必要な荷物はセカンドステイで戻ってくる際にホテルで受け取る事ができます。

世界的な景気の問題か、このような規則が厳しくなっている傾向にある気がします。

出かける際には、こう言った現地事情も考慮して、無用なゴタゴタを事前に避ける事が出来る様に対策を考えておいた方が、より楽しい良い旅行ができると思います。

